NEC

iStorage NS150h

Startup Guide ZO- NOUSTAN





2008年 7月 第2版

箱を開けてから装置が使えるようになるまでの手 順を説明します。このスタートアップガイドに 従って作業してください。

🍂 安全に関するご注意 「ユーザーズガイド」の

「安全にかかわる表示について」 「使用上のご注意 をお読みの上、注意事項を守って 正しくセットアップしてください。

⚠ 警告

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電するおそれがあります。
- 雷が鳴り出したらケーブル類を含め装置に触らないでください。 落雷による感電のおそれがあります。
- ご自分で本体装置の分解・修理・改造を行わないでください。

注 意

- 水、湿気、ほこり、油、煙の多い場所、また直射日光の 当たる場所に設置しないでください。
- 装置に添付されている電源コード以外を使用しないで ください。
- 電源コードは指定の電圧、アース付きのコンセントに 接続してください。 ● 電源コードはタコ足配線にしないでください。

-ステップ1

添付品を確認する

梱包箱を開け、次の添付品がそろってい ることを確認してください。

- 本体×1
- 電源コード×1
- ゴム足×4
- マウンティングイヤー ×2(左×1、右×1)
- ソフトウェアパッケージー式 ×1*1
- お客様登録申込書 x1
- 保証書 ×1
- SystemGlobe DianaScope Additional Server License(DianaScopeのライセンス)
- 使用上のご注意×1
- スタートアップガイド(本書)×1
- ユーザーズガイド×1*2
- *1 ソフトウェアパッケージの内容については、ソフ トウェアパッケージ内の構成品を参照してくださ
- *2 ユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER(SE)」 CD-ROM内に格納されています。これを参照する には、Adobe Readerが必要となりますので、あ らかじめご使用のPCへインストールしておいて ください。

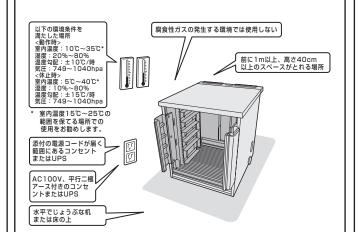
3 下図を参照して、左用、右用を確認する。

ステップ2

ラックを設置する

本体はEIA規格に適合した13型オフィスラックか、卓上 に設置して使用します。ラックに設置する場合は、次の条 件を守ってラックを設置してください。

「ユーザーズガイド」の2章「セットアップ」を参照してく ださい。

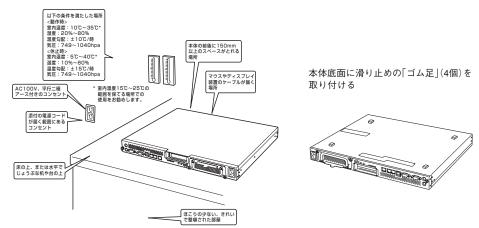


本体を設置する

本体を卓上またはEIA規格に適合した13型オフィスラックに設置します。

「ユーザーズガイド」の2章「セットアップ」を参照してください。

~卓上に設置する場合~



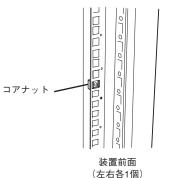
~ラックに設置する場合

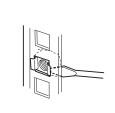
(プラスドライバ・マイナスドライバが必要)~



13Uオフィスラック(N8140-100)への取り付けには、N8140-102 オフィ スラック用ブラケット、およびオフィスラックに添付されているコアナット 一式が必要になります。

1 装置に添付のコアナットをラックに取り付ける。

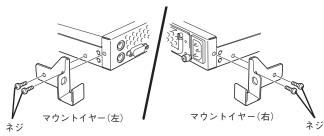




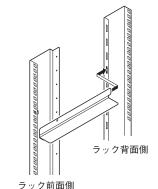
ラックの左右に取り付けたコアナットの高さが同じであることを 確認してください。

⁻ステップ3∙

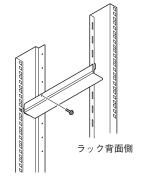
2 ネジ(左右各2本)でマウントイヤー(左)およびマウントイヤー (右)を取り付ける。



L字レール(左用) 1字レール(右田) 4 L字レールのフックをラックの穴(背面側)に挿入する。



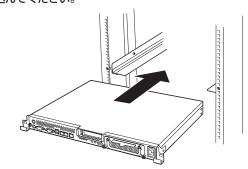
前面と背面をネジで固定する。 下図では左用のレール取り付けを示していますが、 右用も同様にして取り付けてください。



ラック前面側

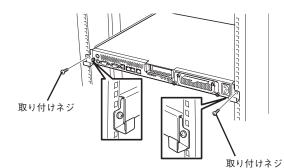
まっすぐにレールが取り付けられていることを 確認してください。

6 2人以上で本装置をしっかりと持ってラックへ取り付け 本装置をL字レールの上にのせてゆっくりと静かに押し 込んでください。



レールで指を挟まないように十分注意してくださ ⊪O 重要

7 本装置をラックへ完全に押し込み、前面の左右にあるマ ウントイヤーをそれぞれ取り付けネジでラックに固定す



ステップ4-

ケーブルを接続する

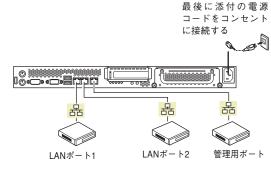
ネットワークケーブルと付属の電源コードを接続します。

詳しくは「ユーザーズガイド」の2章「セットアップ」を参照してください。



- 本体に接続するケーブルは、LANケーブル と添付の電源コードのみです。その他の ケーブルを接続する必要はありません。ま た複数のケーブルを接続するときは、まず LANポートコネクタのみに接続して初期設 定を行い、設定完了後に残りのコネクタに 接続してください。
- 本装置への各種オプションの取り付け・取り 外しは、本書で示すセットアップが完了した 後に行ってください。

以上で本体の電源をONにできる状態になりました。



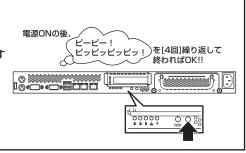
ステップ5-

電源をONにする

電源をONにします。

- 本体のLANポートコネクタとネットワーク環境として使用す るHUBにLANケーブルが接続されていることを確認する。
- POWERスイッチを押して、システムの電源をONにする。

システムの起動後、ビープ音のパターン(ビープ音を2回長 く4回短く)を4回繰り返したら、正常に起動したことになり



引き続きシステムのセットアップをします。 裏面をご覧ください。ᄥᄥᄥ _*ステップ6*_

初期設定をする

管理PCからリモート接続できるようにするために、本装置の初期設定を行 います。



出荷時にパスワードが設定されています(出荷時のパスワードについては、 本装置に添付されているスタートアップガイドに記載されています)。

本体内蔵のLANポート1に割り当てる情報として、「コンピュータ名」、「IP アドレス*」、「IPアドレス用のサブネットマスク*」を用意してください。

- * IPアドレスとサブネットマスクは、設定およびリモートデスクトップ接続を行う Windowsマシン(管理PC)と同じネットワークになる値にしてください。
- 設定を行うWindowsマシンおよび管理PCに、リモートデスクトップがインストールさ れていない場合は、事前にリモートデスクトップのインストールを行ってください。 リモートデスクトップは、Windows XP の OS 媒体に格納されています。また は、マイクロソフト社のホームページ(http://www.microsoft.com/japan/) に アクセスし、"Remote Desktop Connection Software" のキーワードで検索 して入手してください。
- 初期設定ツールからリモートデスクトップを起動する場合は、"C:\Program Files\Personage Remote Desktop"のフォルダにリモートデスクトップがインストールさ れている必要があります。もし、別のフォルダにインストールしている場合は、 以下の設定を行ってください。

初期設定ツールを起動した際にWindowsフォルダに生成される "iStorageNSSetup130.ini"というファイルを開き"RdesktopPath"に記述さ れたファイルパスを正しいリモートデスクトップのインストールフォルダに変更 してください。

初期設定ツールの実行は、本装置と同じネットワーク上にあるWindowsマシ ン(Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003)と添付の 「EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROM を使用します。



詳細については、初期設定ツールのヘルプを参照してください。初期設定ツール を起動せずにヘルプを参照したい場合は、以下のファイルを開いてください。

[EXPRESSBUILDER(SE) CD-ROM]@\(\Omega)NASAP\(\perp\)iStorageNSsetup.chm

① 任意のWindowsマシンのCD-ROMドライブにEXPRESSBUILDER ® [コンピュータ名]欄にコンピュータ名を入力する。 (SE)CD-ROMをセットする。

Autorun機能によりメニューが自動的に表示されます。表示されない場 合は、CD-ROMドライブ内の「¥MC¥1ST.EXE」を実行してください。

② [ソフトウェアのセットアップ]から[初期 設定ツール]をクリックする。

初期設定ツールが起動し、エンドユーザラ イセンス契約(EULA)の確認画面が表示さ れます(初回のみ)。

③ EULAを確認の上、同意する場合は[はい] をクリックする。

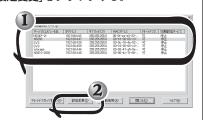
自動発見ウィンドウが表示されます。

④ [開始]をクリックする。 iStorage NSの一覧が表示され



⑤ リモートデスクトップ起動の表示が「確認中」から「可」または「不可」に変 わったら、本装置を選択し、[設定変更]をクリックする。

設定変更画面が表示されます。



DHCPサーバが存在する場合、リモートデスクトップ起動が「可」 となり、リモートデスクトップ接続し設定を変更することができ ます。初期設定ツールからの設定変更を中断した場合、しばらく 間を置いた上で再度自動発見を行ってください。



重複していないことを確認してください。

① [IPアドレス]欄にIPアドレス、[サブネットマスク]欄にサブネットマスクを 入力する。



・ ソフトウェアの セットアップ

NEC

- IPアドレスの設定に間違いがあると、設定変更後の再起動 や、管理PCからのリモートデスクトップからの接続ができ ない場合があります。IPアドレスに誤りがないことを確認し
- 設定するIPアドレス/サブネットマスクは、初期設定ツール を動作させているマシンと同一ネットワークになるように設 定してください。
- ⑧ [適用]をクリックする。



iStorage NS/FS Series

2 -8166 2 -8166 2 1246

信息: DISSTULLENF Remote Value Up 接続 MAC7F/b.2: Remote Value Up 接続 F21E-1 Va.23F サードの発記性 On

97トウェアの セットアップ

NEC

1 2 9 2 B

- 設定変更を確認するウィンドウが表示されたら、[OK]をクリックする。 サーバ設定の変更が始まり、サーバ設定状況の内容が順次更新されます。
- ⑩ 完了メッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

以上で、本装置の初期設定が完了し、管理PCからのリモートデスク トップ接続ができる状態になりました。



耐 割割設定ツールにおいて、設定変更ができないなど、問題が発生 した場合は、初期設定ツールのヘルプの「トラブルシューティン グ」を参照してください。

お読みください

OSの再インストールを行う際に、アレイ構成を変更したり、ベーシッ クディスクへ戻したりすると、ハードディスクドライブ上のデータはす べて削除されます。また、誤った手順を実行すると、ハードディスクド ライブ上のデータがすべて削除される危険性がありますので、再インス トール作業の前に、必ず必要なデータを外付けバックアップ装置などに バックアップしてください。

ディスクアレイ構成を変更した場合

ディスクアレイ構成を変更した場合は、ユーザーズガイドを参照し て、ディスクアレイコンフィグレーション情報のバックアップを行っ てください。

電源制御機能の使用について

本装置には電源制御機能をサポートしていないアプリケーションが含 まれています。スタンバイ/休止状態で運用しないでください。

本装置のシャットダウン操作について

本体のPOWERスイッチを使って本装置をシャットダウン(電源OFF) しないでください。シャットダウンは、管理PCからリモートデスク トップ接続し、シャットダウン操作を行ってください。UPSに接続し ている場合は、UPSの管理ソフトウェアを利用したスケジュール シャットダウンを利用することもできます。

本装置のドキュメントについて

管理者ガイドおよびユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER(SE)」 CD-ROMに格納されていますが、改版されることがあります。最新版 は以下にてダウンロードできますので、ご確認をお願いします。

管理者ガイド

http://www.express.nec.co.jp/care/user/adminguide.html

ユーザーズガイド

http://www.express.nec.co.jp/care/user/istorage.html

□ステップフ-

管理PCからリモートデスクトップ接続を行って設定する

本装置と同じサブネット上にあるクライアントマシン(Windowsマシン)で必要事項を設定します。



イドを参照してください。

- ① クライアントマシン上でリモートデスクトップ を起動する。
- ② 接続先に本装置のコンピュータ名を入力する。 コンピュータ名での名前解決が出来ない場合 は、コンピュータ名ではなくIPアドレスを入力 してください。



- 設定方法の詳細については、ユーザーズガ│③ ユーザー名に「Administrator」を入力し、次にパスワードを入 力して[**OK**]をクリックする。
 - 出荷時のパスワードについては、本装置に添付のスタートアップ ガイドに記載されています。 ④ ユーザーズガイドや注意制限事項、および管理者ガイドを参照し



以下の設定を行ってください。

● 日付と時刻の設定

て必要事項を設定する。

- サーバー名(コンピュータ名)の設定(初期設定ツールで コンピュータ名を設定済みの場合は不要)
- サーバーIDメンバ(WORKGROUP/ドメイン参加)の
- シャドウ コピーの設定(本機能を使用する場合のみ)

ESMPROをセットアップする

NECが提供するサーバ管理・監視ソフトウェア「ESMPRO®」のセットアップをします(その他にもディ スクアレイを管理するソフトウェアなどがあります。詳しくは「ユーザーズガイド」を参照してください)。

本装置には、「ESMPRO/ServerAgent」と「ESMPRO/ServerManager」がバンドルされています。

ESMPRO/ServerAgent

iStorage NSシリーズの内部温度やファン、ハードディスクなどの状態監視や サーバに異常や障害が発生したときに自動的に本装置の電源をOFFにした り、本装置監視用コンピュータやページャへの通報などを行うユーティリ ティです。



設定方法については、ユーザーズガイドを参照してください。

ESMPRO/ServerAgentをインストールした装置の状態は管理PC(ESMPRO/ ServerManager)のディスプレイから右図のように確認することができます。

ESMPRO/ServerManager

ESMPRO/ServerManagerはiStorage NSシリーズと同一のネットワーク上 にある管理PCにインストールするソフトウェアです。

EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして表示 されるメニューから「ソフトウェアのセットアップ]ー[ESMPRO]の順にク リックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

iStorage NS連携モジュール

ESMPRO/ServerManagerがインストールされている環境にiStorage NS連

携モジュールを適用することで、ESMPRO/ServerManagerより、リモートデスクトップ接続が起動で きます。EXPRESSBUILDER (SE) CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして表示されるメニューか ら[ソフトウェアのセットアップ]ー[iStorage NS連携モジュール]の順にクリックします。以降は、画 面に表示されるメッセージに従ってください。

以上ですべてのセットアップが完了です。

iStorage NSシリーズの ご利用にあたって

iStorage NSシリーズでは、保守サービスとして「PP・サポート サービス」を準備しており、技術サポートを有償にてサポートいたし ます。本サービスをご契約いただくと、雷話や雷子メールなどでの お問い合わせ、ご契約者様専用IDでのWWWサーバへのアクセスな どが可能となり、ソフトウェアのQ&Aや技術情報などをご覧いた だけるようになります。また、ソフトウェアのリビジョンアップ情 報などもご提供いたします。

「PP・サポートサービス」の詳しい内容については、以下をご覧くだ さい。

http://www.sw.nec.co.jp/service/support/pp/index.html

NEC iStorageシリーズのホームページ

http://www.express.nec.co.jp/products/nas/index.html



商標について

FSMPRO、DianaScopeは日本電気株式会社の登録商標です。その他、記載の会社名 および商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2008 NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。 このマニュアルは再生紙を使用しています。

⁻ステップ8—

パスワードを変更する

本装置のセキュリティを保つためにパスワードの変更は必ず行ってください。

出荷時にパスワードが設定されています(出荷時のパスワードについては、本装置に添付のスタートアップガ イドに記載されています)。